

# 人口減少時代の新しい学校の在り方

## 小規模校3校合同学園構想

岐阜市立方県小学校 校長 松岡 猛

### 1. 少子化時代の新しい学校の在り方を求めて

2004 年をピークに日本の人口が激減する時代を迎え、全国で小規模校が激増する中、学校再編や学びの質について議論されており、新しい学校の在り方が求められている。

そこで、この岐阜市内の小規模校3校（方県小、網代小、三輪北小）が1つの学園としてオンラインや対面で教育活動を展開する新しい学校の形「小規模校3校合同学園構想」の研究をスタートさせた。

### 2. 3校職員で共通理解したこと

本研究スタートに当たり、目指す方向性について次の3点を3校職員で共通理解した。

#### (1) オンライン授業を通して

- 多様な人柄や考え方に触れながら学びの質の向上を目指す
- 専門教員が3校に授業提供することによる働き方改革の実現

#### (2) 対面授業を通して

- 多様な人格を認め合い、信頼関係を構築
- 多人数で共に活動することの喜びの実感

#### (3) 教育DXの実現

教育DXとは、この4つの学び方を児童や教員が「組み合わせ自在」にすること

	対 面	オンライン
<b>オンデマンド</b> (必要に応じて・好きな時に・好きなだけ)	必要を感じて先生や仲間に質問する 	わかるまで講義動画やドリルで知識を習得 
<b>リアルタイム</b> (同時に・今しかできない)	ライブの授業を聞く場に集まって議論する 	Zoom等で国境・地域・学校を越えて議論する 

また、継続的な研究推進のために、毎月1回オンライン職員会・学年会を位置付けることとした。

オンライン学年会の様子



### 3. 研究の実際

小規模校が抱える課題として、多様な人柄や考え方に触れる機会が少ないことにあり、対人関係能力や学びの質を高めることが求められる。

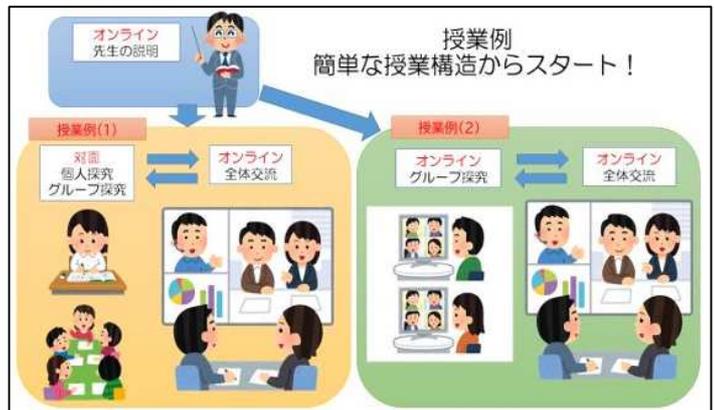
そこで、この課題解決のために、次の2点に取り組むこととした。

#### ○3校合同オンライン授業

#### ○3校合同対面授業

#### (1) 3校合同オンライン授業

各教科、道徳、学級活動、保健指導、児童会、朝の会等、全学年で学習内容や各学校の年間行事等を考慮しながら、基本的な授業構造とICTスキルを共通理解して実践を進めていった。



オンライン一斉授業の様子



ブレイクアウトルームで意見交流する児童



## 1年間の授業実施状況

	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年				学活	生活科	国語	国語	国語		
2年				国語	国語	音楽	図工	算数		
3年		保健		国語	国語	道徳	道徳	学活		
4年			学活	道徳	道徳	道徳	道徳	国語	保健	
5年		海外学習 英語見学	英語見学	国語	道徳	算数				
6年		道徳		学活	学活	道徳		国語		

数字は時数、※印は対面交流、振り返りと来年度方向

## 実際の授業例「5年生国語」

### 5年生の実践 オンライン×リアルタイム

5月	6月	7月	9月	10月
自己紹介	現地交流 自然の家	国語	環境整備 完了	国語

### <国語>「どちらを選びますか」(話す・聞く)②

	活動内容	留意事項
全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇めあての確認</li> <li>〇活動内容の確認…ミニ討論ゲーム</li> <li>・テーマについて2つの立場から意見を言い合う</li> <li>・より説得力のある方を選ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ロイノートにカードを送る</li> <li>・校長先生用進行カード</li> <li>・授業後のアンケート</li> <li>・欠席者の確認</li> </ul>
小集団 (ブレイクアウトルーム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇ブレイクアウトルームへ移動</li> <li>・各グループのテーマで討論(司会:校長先生役)</li> <li>・意見発表→質問→回答 ※校長先生役も質問</li> <li>・どちらがより説得力があったか判定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■担任3人で8チームを分担し、ブレイクアウトルーム入室して話し合いの様子を確認する</li> </ul>
全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇活動の振り返り</li> <li>・感想交流</li> <li>・アンケートに回答する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■授業の振り返りを行う</li> <li>・各担任から、討論の様子について話す。</li> </ul>

授業実践を重ねていくと、3校の子供たちから、①授業内容、②仲間とのかかわり、③学び方、④中学校入学への気持ちについて次のとおり意見を聞くことができ、大きな成果を感じることができた。

### 3校の子どもたちの変容

本年度を振り返って

授業内容とかかわって

自分の考えに広がりや深まりが生まれる

- ・気付かない意見がたくさんあって勉強になる。
- ・いろいろな子の気持ちが分かって楽しい。
- ・自分の考えが深まった。
- ・参考になる意見が多くなった。
- ・説明の仕方がとても分かりやすい。



### 3校の子どもたちの変容

本年度を振り返って

仲間とのかかわりにかかわって

新しい仲間が増える  
喜びや期待、安心感

- ・自分の意見に反応してくれた。(うなずきや「分かりました」など)
- ・ブレイクアウトルームに入れるようになったら気軽に意見を言い合えるようになった。
- ・趣味が合う子が見つかってうれしかった。
- ・名前を何人も覚えられた。友だちが増えた
- ・野外学習の時より距離が縮まった気がする



### 3校の子どもたちの変容

本年度を振り返って

学び方にかかわって

ほどよい緊張感  
クラスづくりの刺激に

- ・出された意見をまとめて聞くようになった。
- ・画面でも分かるように、うなずく。
- ・聞き取れるように大きく、はっきり話す。

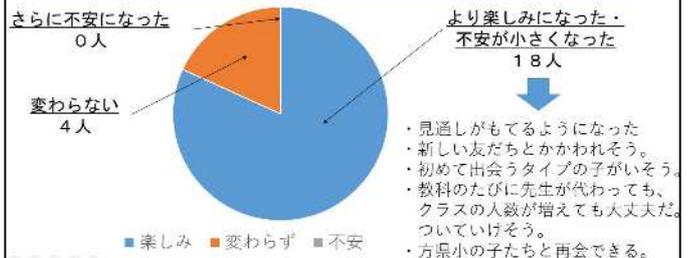
- ・見られているから姿勢をよくする。
- ・考えを一度整理してから、書いたり話したりする。



### 3校の子どもたちの変容

本年度を振り返って(網代小5・6年生)

中学校入学に対する気持ちに変化はありましたか



また、養護教諭の専門分野を生かして、歯磨き指導や性教育等を実施した。これにより質の高い授業提供ができたことや職員の働き方改革にもつながることを実感できた。

### 職員の専門性を生かした取組

～養護教諭の実践～

オンライン×リアルタイム

<保健>歯みがき指導

ホスト  
網代小

7月11日(火)3年生  
原富科保健分科会の先生はオンライン参加



・学習プリントやプレゼンなどの資料を3校で共有できる。  
・互いに細やかな指導法を学ぶことができる。

職員の  
専門性の向上  
負担軽減

### (2) 3校合同対面授業

野外学習、修学旅行、社会見学は対面授業で実施した。子供たちは、オンライン授業で打ち合わせした計画で活動しながら、互いの人柄や考え方に触れると共に信頼関係を築くことができた。

5年生の野外学習で3校の児童が自然の家でふれあい交流をしたとき、次のとおり感想を述べている。



<交流後の児童の感想> ※三崎小学校からのみ

- 〇校歌を歌ってもらえるとは思わなかったので、いろいろな発想があっておもしろかったです。
- 〇「なまえ鬼」が楽しかった。
- 〇そんな鬼っこがあるんだと思いました。
- 〇みんなで話したり、いつもと違う人とやって新鮮で楽しかった。
- 〇いつもより多い人数だから、いつもより盛り上がった。
- 〇すきな遊びがたくさんあったし、話すこともできたから大満足だった。こんどみんなでドッチボールがしたいです。
- 〇いつも話している人でなく、初対面の人も仲良く交流できるのは、将来も役に立つと思うから、いいことだと思う。

### 4. 終わりに

私たちは、これまで実践したことがない新しい学校の在り方にチャレンジし、まだまだ不十分などを感じつつも、大きな成果を子供の姿や意見から感じることができた。

これは、職員一人一人が小規模校の課題をしっかりと把握し、当事者意識をもって教育を創造したからに他ならない。チャレンジを恐れず、修正主義で取り組んだ3校の職員に感謝である。

正解のない社会の問題解決は、私たちの学校現場にも直面していることを感じつつ、この取組が日常化となるよう力を合わせて今後も教育を創造していきたい。